

別紙様式 1

令和6年度使用小学校用教科用図書の採択結果等について

採択地区名	庄原市
-------	-----

種 目	発行者	採 択 理 由
国語	東書	単元の導入に見開き2ページを使い、学び方が分かりやすく示されている。「情報のとびら」のページが関連する単元の前後に配置され、発達段階に応じた情報活用のポイントが示されている。学校図書館機能の利活用のページ数が3者の中で最も多く、読書意欲の向上や学校図書館との関連も期待できる。
書写	東書	低学年において、文字を書く姿勢が分かりやすく示され、鉛筆の持ち方について、右手左手が同じ分量で取り上げられている。各学習過程の視点が示されており、「書写のかぎ」で課題解決的な学習を実施するための工夫がされている。さらに、他学年とのつながりを意図した系統的な内容となっている。
社会	東書	単元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程を詳しく示すことで、児童が見通しをもって学ぶことができる。さらに、本文記述と関連する分かりやすい写真やイラスト、資料等が示されており、児童が社会的事象をつかみやすい。第6学年では分野を意識した2冊構成となっており、中学校への接続も円滑にできるよう図られている。
地図	帝国	簡潔な各地方図とは別に、広く見渡す地方図があり、入門期の児童にとって分かりやすく使いやすい。資料図も、テーマごとに見開きでまとめてあり、簡潔で分かりやすい。また、自然災害の発生地を示すだけでなく、防災への取組のページが充実している。索引の見方も工夫されており、児童にとって使いやすい地図帳である。
算数	東書	2つの数量関係などに着目して捉えさせるために数直線を用いてあり、基準量を1とみて相対的な大きさを比べ、数量の関係を適切に読み取り判断する力を養うことができる。また、第1学年では、大判の別冊により入門期の指導を充実させている。さらに、デジタルコンテンツの量が豊富であり、自己評価ができ、主体的に学ぶ力の向上が期待できる。
理科	学図	「問題をみつけよう」「問題」「観察・実験」「わかったこと」等のマークを示し、矢印をつないで学習過程を示している。学年ごとにキャラクターが設定され、単元の冒頭で、その単元で身に付けさせたい資質・能力を示している。巻末の「もうすぐ中学生」でこれまでに学んだことが、これからも身の回りの仕事や日常生活に生かされていくことを述べている。また、発展問題は興味・関心を高め、理科好きな児童の増加が期待できる。
生活	東書	児童に問いかけ、答えを示さずに、疑問や興味をもたせる展開となっており、自分で実際に体験、活動して主体的に学べる構成となっている。また、単元の導入では、幼児期の学びを生かした活動の例が多く示されており、幼保小の円滑な接続であるスタートカリキュラムが充実している。全体として、教科書から学ぶのではなく、教科書をきっかけとして主体的な学びを促すことをねらいとした内容になっている。

種 目	発行者	採 択 理 由
音楽	教出	6年間に扱う楽器の種類が36種類と多い。全学年に英語の歌、第4学年以上に英語と英語以外の外国語の曲を数曲扱っており、多様な学習も充実しているため、児童の興味・関心を高めることができる。対話的な学びを引き出すポイントを示した「まなびナビ」コーナーも工夫されている。第3学年以上の共通教材では、豊かなイメージにつながる、見開きの大きく雄大な写真で表現されている。さらに、二部合唱の扱いも早い段階から取り組めるようになっている。
図画工作	日文	学習の目標や振り返りの視点が具体的で分かりやすく示されており、本時で身に付けさせたい力が明確である。児童の鑑賞のつぶやきを具体的な表現例で示しており、鑑賞の視点も明確であるため、児童が表現する際の参考とすることができる。また、絵、造形遊び、立体、工作、鑑賞のすべての活動がバランスよく配列されている。
家庭	開隆堂	生活の見方・考え方の4つの視点がクローバーで示され、児童が見通しをもって学習に取り組むことができる。また、防災やSDGsにつながる題材を取り上げており、児童が身近な問題から課題を発見できるような構成になっている。落ち着いた色合いで実習の手順が示されていて、実物大の写真があることから、児童がゴールイメージをもちやすく、目標を達成するために、手順や方法などをしっかり考え、学習に取り組むことができる。
保健	学研	教科書がワークシート形式となっており、全ての学習過程の中に自分の予想や挿絵からの気づきを記入する欄があり、振り返り時に活用が容易であることから、自ら学びを進めることができ、言語活動も充実している。「ほけんのはこ」において、他教科とのつながりが明記されており、「もっと知りたい調べたい」において、中学校の学習内容と関連しているものについて説明している。
英語	東書	ワークシートが豊富に取り入れられるとともに、特に英語で「書くこと」のできる部分が多くあり、4線で書き出しや書く方向を矢印の点線で示し、書くことの抵抗をなくす工夫がある。「Can doの樹」により、明確な目標設定と、それに対応した振り返りを可能としている。読む活動や音声を聞いて比較する活動を多様に取り入れ、基礎基本の定着に係る指導の工夫がある。
道徳	学研	教材に関連した体験的な学習を促すと同時に、マークを目次及び該当ページに示している。二次元コードに、ワークシートや関連写真等が入っており、教材のイメージ化や考えの可視化につなげる工夫があり、より深い道徳的思考へと導くことができる。心に残ったお話や出来事、心に残った言葉、人に伝えたい言葉などを記入し、1年間の学びを振り返るページを設けている。